

後記

永い間懸案のまゝ、自分の無精からつい出しそびれてゐた雑誌が、やうやく發刊出來て嬉しい。個人雑誌の、それも微々たるものではあるが、一旦始めた限、途中で廢める事はしないつもりである。此の創刊號は三ヶ月分の劇評を集めたので、割合に原稿が多かつたけれども、何時も此の調子とは限らない。第一、對象となるべき芝居がない時にはベチヤンコである。然し、劇評に限らず、演劇に関する研究（例へば今月の前進座の勸進帳の後半の如き）や、音楽、繪畫の論評、詩歌までやつて、その穴は埋めて行く覺悟である。又、尊敬すべき諸先生の玉稿を追々に戴く算段もしてゐる。假令、三頁か五頁でも毎月出すから、大に御支持願ひ度い。又今月の記事は歌舞伎のみに關してであつたが、新劇も素より好む所である。唯、關西を根拠にしてゐる爲、東都劇壇の記事は尠いだらうが、不振

の關西劇壇をこそ、より一層批評鞭撻するのが自分の職責と考へて努力しようから、敵と廻して不足ないだけの發奮を希ふ。抱負は元より大きい。然し要は仕事にある。さあ、俳優諸君、一つ喧嘩しようではないか！以上。編輯後記に替へ、且發刊の辭に代へて。

昭和十四年四月一日印刷
昭和十四年四月五日發行

（毎月一回發行）

編輯兼發行人 西宮市南郷町九十七番地 武 智 鐵 二

印刷人 神戶市湊東區相生町三丁目五六 澤 田 信 次

印刷所 神戶市湊東區相生町三丁目五六 株式會社 神戶社印刷所

發行所 西宮市南郷町九十七番地武智鐵二方 「劇評」發行所